

## 神戸市国保特定健診結果を利用した 慢性腎臓病の進行と予防に関する大規模研究へのデータ提供について

神戸市は、兵庫大学が実施する腎機能低下に関する疫学研究に協力しています。

神戸市の国保事業の中で実施した「神戸市国保特定健診」の質問項目への記入状況と健診結果を経年的に追跡する疫学研究です。

すでに、神戸市が保有している情報を利用させていただく研究ですので、対象となられた市民の皆様は、あらためて何かをお尋ねすることはありません。また、対象となられた皆様の情報は、個別に検討するのではなく、統計データとして分析します。

この研究は、兵庫大学が設置する研究倫理委員会、文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づく承認を得て実施するものです。

### 1. 研究の目的

本研究は、地域・職域健診を活用した慢性腎臓病（CKD）進行予防対策の確立により、透析や腎移植を必要とする末期腎不全患者数、心血管疾患（CVD）患者数を減少させて健康寿命を延伸すること、それらの疾患に関連する医療費の高騰を抑制するための基礎情報として、以下の3点を明らかにすることを目的としています。

- ①日本人 CKD 症例における、管理状況別の腎機能低下速度、心血管疾患の発症頻度
- ②現行の特定健診、病診連携システムにおける、CKD 進行予防に関する費用対効果
- ③「CKD 進行予防対策」において、医療経済学的な観点から、より大きな効果を得るための方法

### 2. 研究の対象

平成 26 年度の特定健診受診者のうち、40 歳以上で、下記の①②のいずれかを満たすもの。

- ①尿蛋白 $\geq$ +/-、もしくは  $eGFR < 60\text{ml}/\text{min}/1.73\text{ m}^2$
- ②糖尿病を有し、 $eGFR$  低下率 $\geq$ 3.3%/年

### 3. 研究方法

平成 26～30 年度の特定健診受診者の特定健診質問票の記入事項と特定健診結果を神戸市役所で匿名化した上で、これらのデータを研究責任者に提供します。研究機関では研究対象者の慢性腎臓病の進行状態に関連する因子を分析します。

### 4. 研究に用いる試料、情報の種類

研究に用いる情報は、神戸市国保特定健診で得られる以下の既存情報に限られます。

個人の属性情報（性別、生年月日等）、特定健診の質問票、特定健診結果等、神戸市国保特定健診の結果に関する情報です。

#### 5. 外部への試料、情報の提供

データベース作成及びデータ提供は、研究関係者以外はアクセスできない状態で行います。個人のデータは匿名化し、電子媒体で研究機関に提供します。

#### 6. 研究組織

研究責任者：兵庫大学看護学部看護学科 教授 伊藤 純

#### 7. 研究期間 2014年4月1日から2020年3月31日まで

#### 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、情報が該当研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも神戸市保健事業に関する不利益が生じることはありません。

連絡先：

**研究の内容に関すること**

〒675-0195 兵庫県加古川市平岡町新在家 2301  
兵庫大学看護学部看護学科 教授 伊藤 純  
電話 079-427-5111

**情報提供拒否に関すること**

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6 丁目 5 番 1 号  
神戸市保健福祉局高齢福祉部国保年金医療課 管理係  
電話 078-322-0217